

人権政策の現状と課題

1 長野県の人権政策の現状

- 人権政策の基本的な考え方や方向性を示す「長野県人権政策推進基本方針」（平成 22 年 2 月策定）に基づき施策を推進
- 個別の人権分野における条例の制定や制度の創設
 - 例：長野県の未来を担う子どもの支援に関する条例（H26）、
 - 障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり条例(R4)
 - 長野県犯罪被害者等支援条例（R4）
 - 長野県パートナーシップ届出制度（R5）
- 長野県総合 5 か年計画「しあわせ信州創造プラン 3.0」（計画期間：令和 5 年度～9 年度）において、全ての政策の構築・推進に当たっての共通視点の一つに「人権の尊重や公正さ、多様性・包摂性を追求し、誰一人取り残さない」ことを掲げ、取組を推進

【参考】

（人権を巡る状況）	（国や都道府県の動向）
○SDGs 達成に向けた世界的潮流 ・「誰一人取り残さない社会」を目指した取組 ・SDG s の基礎に人権があり密接に関連 ○人権に対する社会的関心の高まり （様々な格差、性被害、性の多様性、DE & I 経営 等） ○自然災害発生や感染症感染拡大などの非常時における人権に関わる様々な問題の顕在化	○法整備の進展 ・ H28 年 人権三法の施行 （障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法 部落差別解消推進法） ・ R5 年 LGBT 理解増進法 ・ R6 年 情報プラットフォーム対処法（R7.4 施行）など ○他県における取組 ・ 基本方針等において位置付ける人権課題の多様化 ・ 20 都府県が人権尊重に関する条例を制定 ※県内では 76 市町村が制定

2 県内における近年の主な人権侵害事案

差別をはじめとする様々な人権侵害が依然として存在

- ・ 同和地区に関する問合せ等の差別発言やインターネット上の同和地区の晒し行為
- ・ ハンセン病に関する患者台帳のネットオークションサイトへの出品
- ・ 新型コロナウイルス感染者やその家族、医療従事者等に対する差別や誹謗中傷など

【人権侵犯事件数の状況】

○法務省人権侵犯統計による新規受理件数（単位：件）

年	R1	R2	R3	R4	R5	R6
長野県	447	150	104	45	89	未公表
全 国	15,420	9,589	8,581	7,859	8,962	8,947

【人権相談件数】

○法務省人権侵犯統計による人権相談件数（単位：件）

年	R1	R2	R3	R4	R5	R6
長野県	4,482	3,469	2,739	1,981	2,115	未公表
全 国	203,570	173,634	166,457	159,864	176,053	未公表

○長野県人権啓発センター人権相談件数（単位：件）

年	R1	R2	R3	R4	R5	R6
件数	154	229	293	266	169	119

3 県民の人権に関する意識（各種調査より）

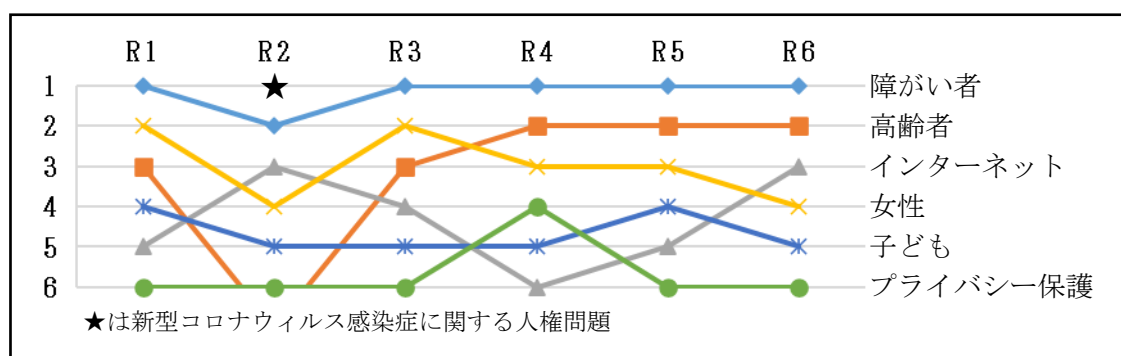
- R1・R3・R4 は「県政モニターアンケート調査」（18 歳以上、無作為抽出の上、承諾した者約 1,150 人＋公募約 30 人、回答率約 7 割前後）
- R5・R6 は「県政アンケート調査」（18 歳以上、年齢構成比に準じて無作為抽出、回答者 1,000 人に達するまで調査）
- R2 は「人権に関する県民意識調査」（16 歳以上、年齢構成比に準じて無作為抽出、回答者 1,300 人）

○人権尊重を意識して行動している県民の割合が近年減少傾向（R1、R2 は調査無し）

年度	R3	R4	R5	R6
他者の人権を尊重することについて意識して行動している意図の割合	86.8%	77.2%	53.6%	50.7%

○身の回りで起きている身近な人権問題

1～6 は回答数の順位（ほかにも人権問題の項目を設けているが、令和 2 年度を除いて例年以下 6 項目が上位を占めている。）



※1 R5、R6 の県政アンケート調査結果の詳細は別紙参照。

※2 R2 の人権に関する県民意識調査結果報告書（長野県）は以下 URL 又は二次元コード先のホームページから参照。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/jinkendanjo/kurashi/jinkendanjo/jinken/main/documents/r2ishikityousasyuuseizentai.pdf>



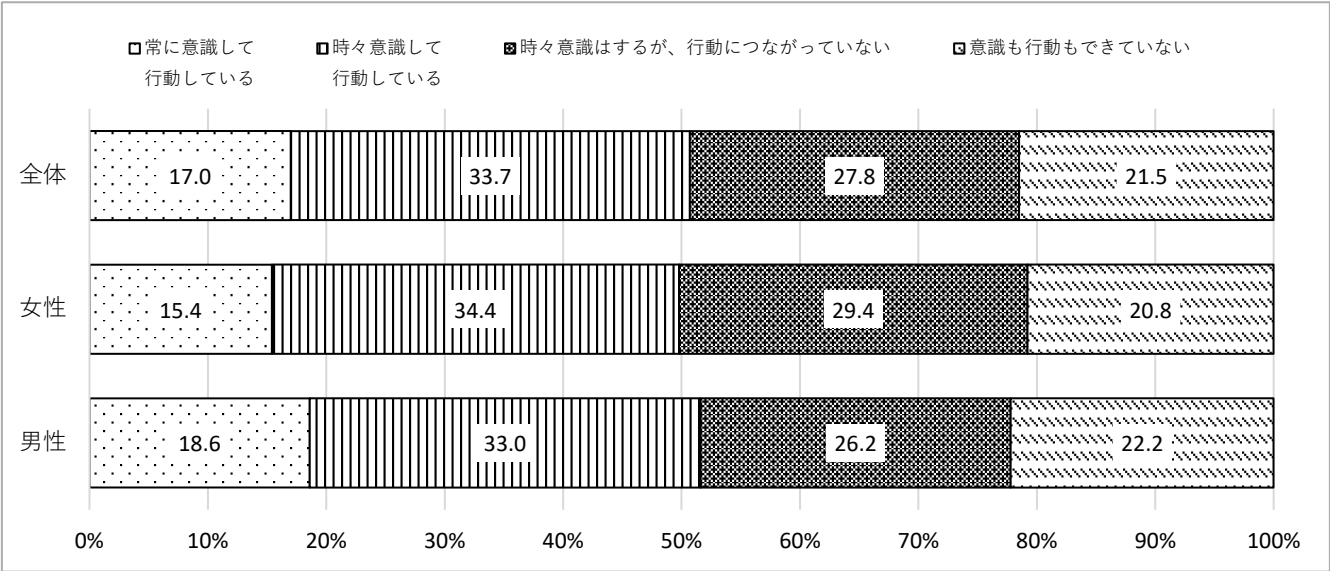
《人権に関する意識について》

＜人権を尊重する意識の状況＞
「常に意識して行動している」と「時々意識して行動している」が合わせて約5割

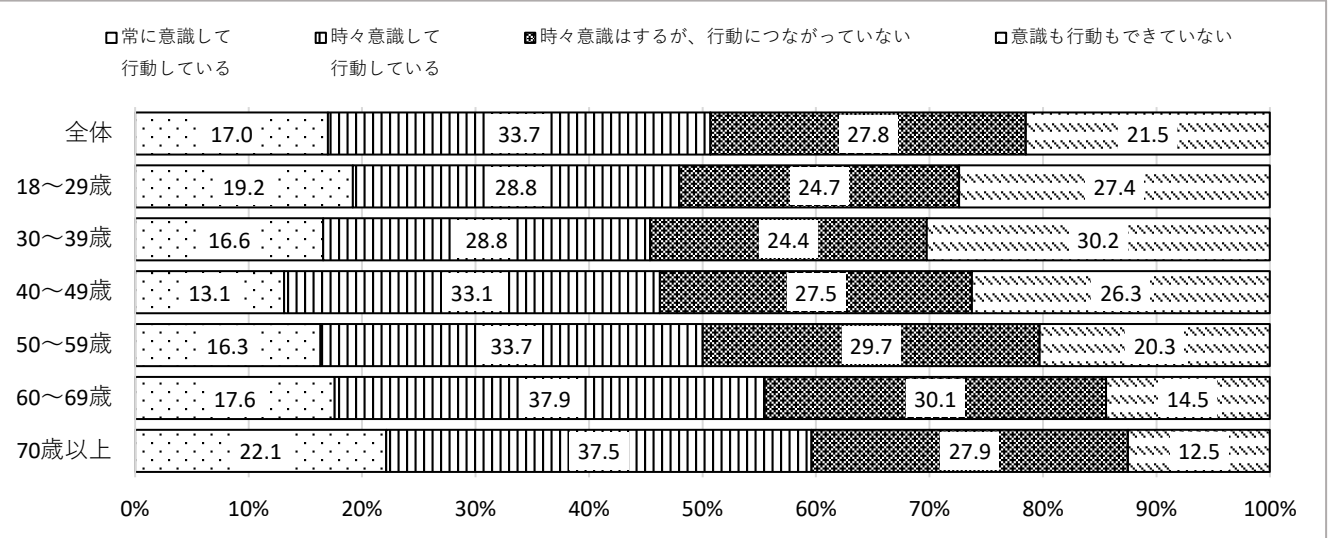
問6 あなたは、他者の人権を尊重することについて、普段から意識して行動していますか。
当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1,000		(参考) 前回 R6.1月調査 n=1,000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
常に意識して行動している	170	17.0	198	19.8
時々意識して行動している	337	33.7	338	33.8
時々意識はするが、行動につなげていない	278	27.8	262	26.2
意識も行動もできていない	215	21.5	202	20.2

- 「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」を合わせた割合は50.7%となっている。
- 男女別では、「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」に大きな差は見られない。



- 年代別では、「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」を合わせた割合が最も高いのは70歳以上(59.6%)、「時々意識はするが、行動につなげていない」、「意識も行動もできていない」を合わせた割合が最も高いのは30～39歳(54.6%)となっている。



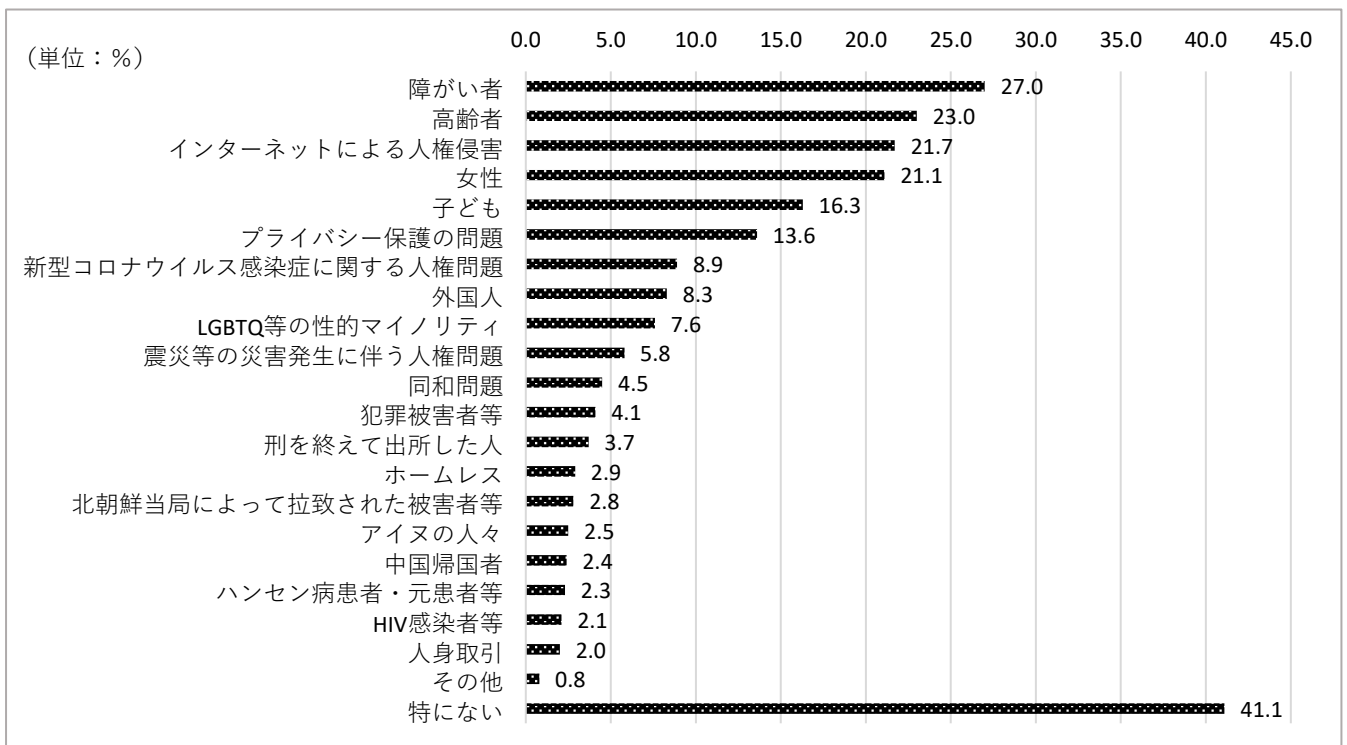
＜身近で起きている人権問題＞

「障がい者に関すること」が3割弱、「高齢者に関すること」が2割超

問7 あなたの身の回りで起きている身近な人権問題は何ですか。
当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1,000		(参考)前回 R6.1月調査 n=1,000	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
障がい者に関すること	270	27.0	326	32.6
高齢者に関すること	230	23.0	288	28.8
インターネットによる人権侵害に関すること	217	21.7	197	19.7
女性に関すること	211	21.1	274	27.4
子どもに関すること	163	16.3	244	24.4
プライバシー保護の問題に関すること	136	13.6	156	15.6
新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(不当な取扱いやひぼう中傷)に関すること	89	8.9	121	12.1
外国人に関すること	83	8.3	106	10.6
LGBTQ等の性的マイノリティに関すること	76	7.6	96	9.6
震災等の災害発生に伴う人権問題に関すること	58	5.8	74	7.4
同和問題に関すること	45	4.5	55	5.5
犯罪被害者等に関すること	41	4.1	40	4.0
刑を終えて出所した人に関すること	37	3.7	35	3.5
ホームレスに関すること	29	2.9	29	2.9
北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関すること	28	2.8	27	2.7
アイヌの人々に関すること	25	2.5	19	1.9
中国帰国者(永住帰国した中国残留邦人等)に関すること	24	2.4	20	2.0
ハンセン病患者・元患者等に関すること	23	2.3	12	1.2
HIV感染者等に関すること	21	2.1	26	2.6
人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)に関すること	20	2.0	24	2.4
その他	8	0.8	10	1.0
特になし	411	41.1	334	33.4

●「障がい者に関すること」が27.0%と最も高く、次に「高齢者に関すること」(23.0%)、「インターネットによる人権侵害に関すること」(21.7%)と続いている。



「その他」としては、「近隣住民による悪いうわさ話」、「隣人トラブルによるひぼう中傷」等の回答があった。

《人権に関する意識について》

(資料3別紙) R5県政アンケート調査結果

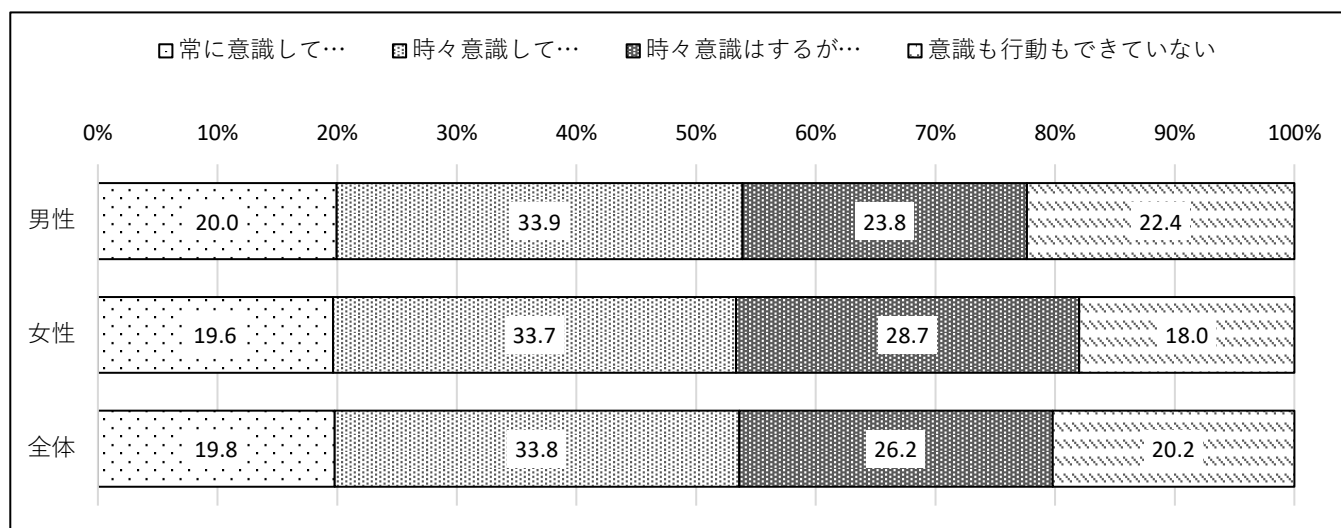
＜人権を尊重する意識の状況＞

「常に意識して行動している」と「時々意識して行動している」が合わせて5割超

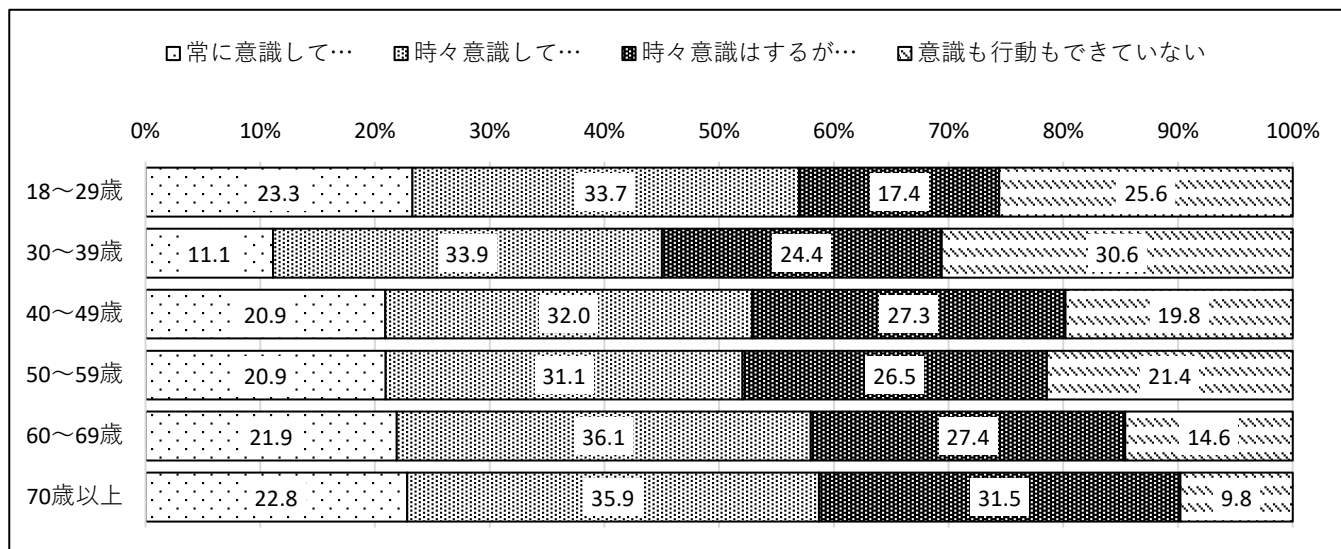
問4 あなたは、他者の人権を尊重することについて、普段から意識して行動していますか。当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1,000		(参考) R5.1県政モニター アンケート調査n=822	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
常に意識して行動している	198	19.8	386	47.0
時々意識して行動している	338	33.8	248	30.2
時々意識はするが、行動につなげていない	262	26.2	149	18.1
意識も行動もできていない	202	20.2	23	2.8

- 「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」を合わせた割合は53.6%となっている。
- 男女別では、「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」に大きな差は見られない。



- 年代別では、「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」を合わせた割合が最も高いのは70歳以上(58.7%)、「時々意識はするが、行動につなげていない」、「意識も行動もできていない」を合わせた割合が最も高いのは30代(55.0%)となっている。



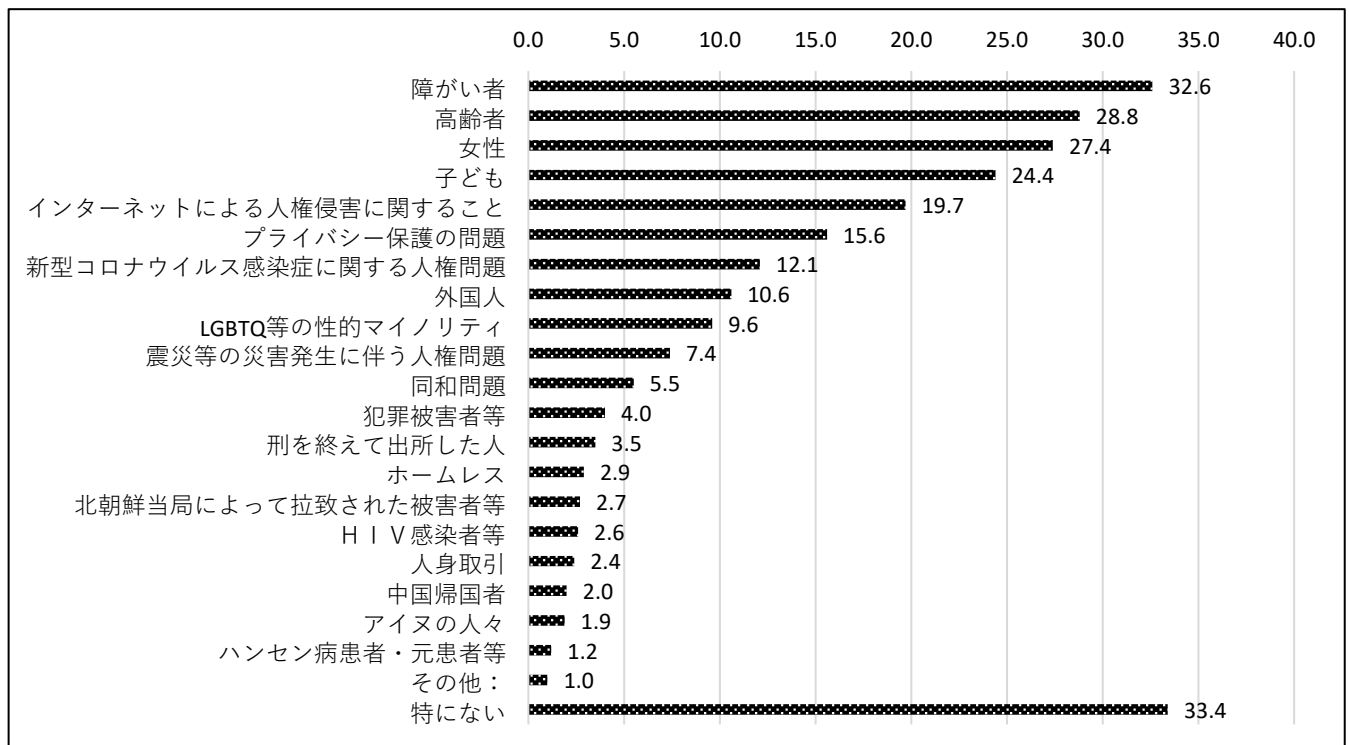
<身近で起きている人権問題>

「障がい者に関すること」が3割超、「高齢者に関すること」が約3割

問5 あなたの身の回りで起きている身近な人権問題は何ですか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1000		(参考)R5.1県政モニターアンケート調査n=822	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
障がい者に関すること	326	32.6	342	41.6
高齢者に関すること	288	28.8	288	35.0
女性に関すること	274	27.4	233	28.4
子どもに関すること	244	24.4	188	22.9
インターネットによる人権侵害に関すること	197	19.7	178	21.7
プライバシー保護の問題に関すること	156	15.6	200	24.3
新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(不当な取扱いや誹謗中傷)に関すること	121	12.1	171	20.8
外国人に関すること	106	10.6	80	9.7
LGBTQ等の性的マイノリティに関すること	96	9.6	87	10.6
震災等の災害発生に伴う人権問題に関すること	74	7.4	14	1.7
同和問題に関すること	55	5.5	65	7.9
犯罪被害者等に関すること	40	4.0	27	3.3
刑を終えて出所した人に関すること	35	3.5	24	2.9
ホームレスに関すること	29	2.9	25	3.0
北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関すること	27	2.7	31	3.8
HIV感染者等に関すること	26	2.6	12	1.5
人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)に関すること	24	2.4	22	2.7
中国帰国者(永住帰国した中国残留邦人等)に関すること	20	2.0	14	1.7
アイヌの人々に関すること	19	1.9	9	1.1
ハンセン病患者・元患者等に関すること	12	1.2	9	1.1
その他	10	1.0	17	2.1
特にない	334	33.4	180	21.9

●「障がい者に関すること」が32.6%と最も高く、次に「高齢者に関すること」(28.8%)、「女性に関すること」(27.4%)と続いている。



「その他」としては、「県外からの移住者に対する差別」「よそ者扱い」等の回答が見られた。